

あか牛種雄牛を供給しました！！

平成28年 6月29日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

当場で生産・育成した褐毛和種（あか牛）の種雄牛を、平成29年2月14日に熊本県へ、6月8日に秋田県内の畜産農協へ、それぞれ1頭ずつ供給しました。

熊本県に供給した「春山球磨（はるやまくま）」は、精液採取用の種雄牛として、熊本県においておよそ4～5年間かけて現場後代検定（能力調査）が行われる予定です。

また、秋田県内の畜産農協に供給した「隆光丸（たかみつまる）」は、自然交配用種雄牛（まき牛）として、基礎雌牛や肥育素牛の生産など、あか牛の改良・増殖に利用される予定です。

特に、「春山球磨」は、現在のあか牛の中では主流ではない系統（重玉系）から作出した種雄牛であり、近交係数の上昇を抑制するための貴重な系統の種雄牛として活躍を期待しています。



春山球磨



隆光丸